

# 中野みらいく保育園

## 施設からのメッセージ

中野みらいく保育園では、小規模ならではの暖かな雰囲気のもと、子どもの「好き」や「得意」を大切に、成長のサポートをしております。保育室の床には無垢材を使用し、園内では子供たちは裸足で過ごしています。どの保育室からも園庭に直接出られるので、外遊びの時間を多く取り入れています。園内調理の給食は、個々の成長に合った形態や栄養を考えて提供をしており、お誕生日会の日には、お子さんの好きなメニューが献立になるのも特徴の一つです。食育活動も実施しており、食を通じて子供たちの笑顔を育てています。今後は地域の活動などにも積極的に参加し、より身近な保育園として認識していただけるよう、計画をしていきたいと思っております。



▶保育室の様子



▶みんな笑顔の給食

所在地：吉田 1044-2  
 開園年：2020年  
 分類：小規模保育事業所  
 施設定員：19人  
 対象児童：0歳～2歳  
 開園時間：平日・土曜  
 (延長含む) 午前7時30分～午後6時30分  
 ☎：0269 (38) 8868



◀公式ホームページ



子どもも保育士も  
 一緒に成長して  
 いきたいです

2歳児担任  
 近藤 美紀 先生



# ニチイキッズ中野保育園

## 施設からのメッセージ

20年4月に開園した、未満児対象の小規模保育園です。「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」を保育理念として、お子さん一人一人の心身の発達に応じた、きめ細やかな保育を行っております。保育士有資格者100名の質の高い日常の保育と、外部講師によるリトミック・英語レッスンなど多彩なカリキュラムで学びへの好奇心を育みます。三大アレルギー原因食材を使用しない「おもいっきり給食」を土曜日も含めて実施。簡易ベッドなどの使用でお昼寝布団の持参が不要など、保護者のご負担軽減にも配慮しています。子供たちも、保護者の方々も、地域の皆さんも、みんなが笑顔になれる保育サービスの提供を目指しています。



▶お散歩の様子



▶イベントの一つ「ふれあい運動会」

「子どもたちも  
 おもいっきり！  
 スタッフも  
 おもいっきり！」

0歳児担任  
 蟻川 加奈 先生

所在地：吉田 796-5  
 開園年：2020年  
 分類：小規模保育事業所  
 施設定員：19人  
 対象児童：0歳～2歳  
 開園時間：平日・土曜  
 (延長含む) 午前7時30分～午後7時  
 ☎：0269 (38) 1018



◀公式ホームページ



# 中野市地域おこし協力隊がゆく!

## 信州ながの日和

File: 27



中野市の農作物の豊かさを実感しています!

今月の協力隊員 榎本郁美 隊員

農政課 ☎ 22-2111



### 実りの秋!

中野市に移住して半年。中野市に来てから初めての体験ばかりで、日々刺激をもらいながら、とても楽しく活動させていただいています。

今年度はコロナ禍でさまざまなイベントが中止に。そんな中、休校により作られることがなかった学校給食のレシピを SNS で発信したり、Zoom アプリを使ったオンライン料理イベントを企画してみたりしました。外に出ることができなかった分、じっくりと中野市のことを知ることができ、たくさんの人とつながることができました。

そして今、実りの秋を迎え中野市の農作物の豊かさを実感しています。この半年で感じた農業の魅力、たくさんの方に身近に感じてほしい! 現在、農業との新しい関わり方を模索中です。

1 2 広い畑でおもいきり体を動かして農作業。中野市の暖かい空気感がとても好きです。3 ぼたんこしょうオンライン料理体験を開催。皆さんにごはんが進む郷土料理を体験してもらいました。



## 池田市長の vol.79 わくわくレポート

働きやすく子育てしやすいまちづくり

最年少の子どもが0～6歳の核家族世帯で、共働き率をみると、中野市が67.7%で、県内19市中で最も高い(中野市政策研究所報告書より)。

中野市の共働き率は県内19市の中で一番高い。ここから、0歳～2歳(以下未満児と呼称する)の保育ニーズが高いことが推察される。中野市では未満児保育の環境を整え、働きやすく子育てしやすい環境づくりに鋭意努力を重ねてきた。現在、中野市には公立保育所11、私立保育所1、私立小規模保育事業所2、私立認定こども園1、私立幼稚園1があり、保育環境整備を進めている。

わが国は少子化が進み人口減少が続いているが、中野市においてもその傾向は変わらない。人口減少の進行を少しでも緩め、活力ある中野市と



◀ 3月に開催したひらおか保育園オープニングセレモニー。10月15日には園庭や外構工事を含めた総合しゅん工となりました。

するためにも、子育てしやすく、働きやすい環境づくりに努めなければならない。

子育て環境の整備は、地域の魅力の重要な要素であり、移住促進、人口増加施策につながる重要な政策課題である。加えて、「核家族」、「共働き」といった社会構造の変化は、子育てに関する知恵の伝授や、育児の悩みなどの相談ニーズを高めていることから、保育園などの充実のみならず、育児全般にわたる、相談しやすく、仲間同士で交流ができ、知恵の交換ができる仕組みを必要としている。

中野市が本当に子育てしやすいまちであるために、ここ中野市に住んでよかったと思っただけるまちづくりは重要な課題である。